

令和8年度



丹波篠山市 職員研修概要

◎随時、自主研修・派遣研修の参加希望者を募集しています。

企画総務部 総務課

— 目 次 —

1. 職員研修の基本方針	1
2. 職員研修体系	2
3. 研修計画	3
内部研修	
○OJT	
○階層別研修	
○特別研修	
派遣研修	
4. 令和8年度内部研修の記録	5
5. 令和8年度派遣研修の記録	7
6. 令和8年度自主研修の記録	10
7. 令和8年度人権研修参加実績	12

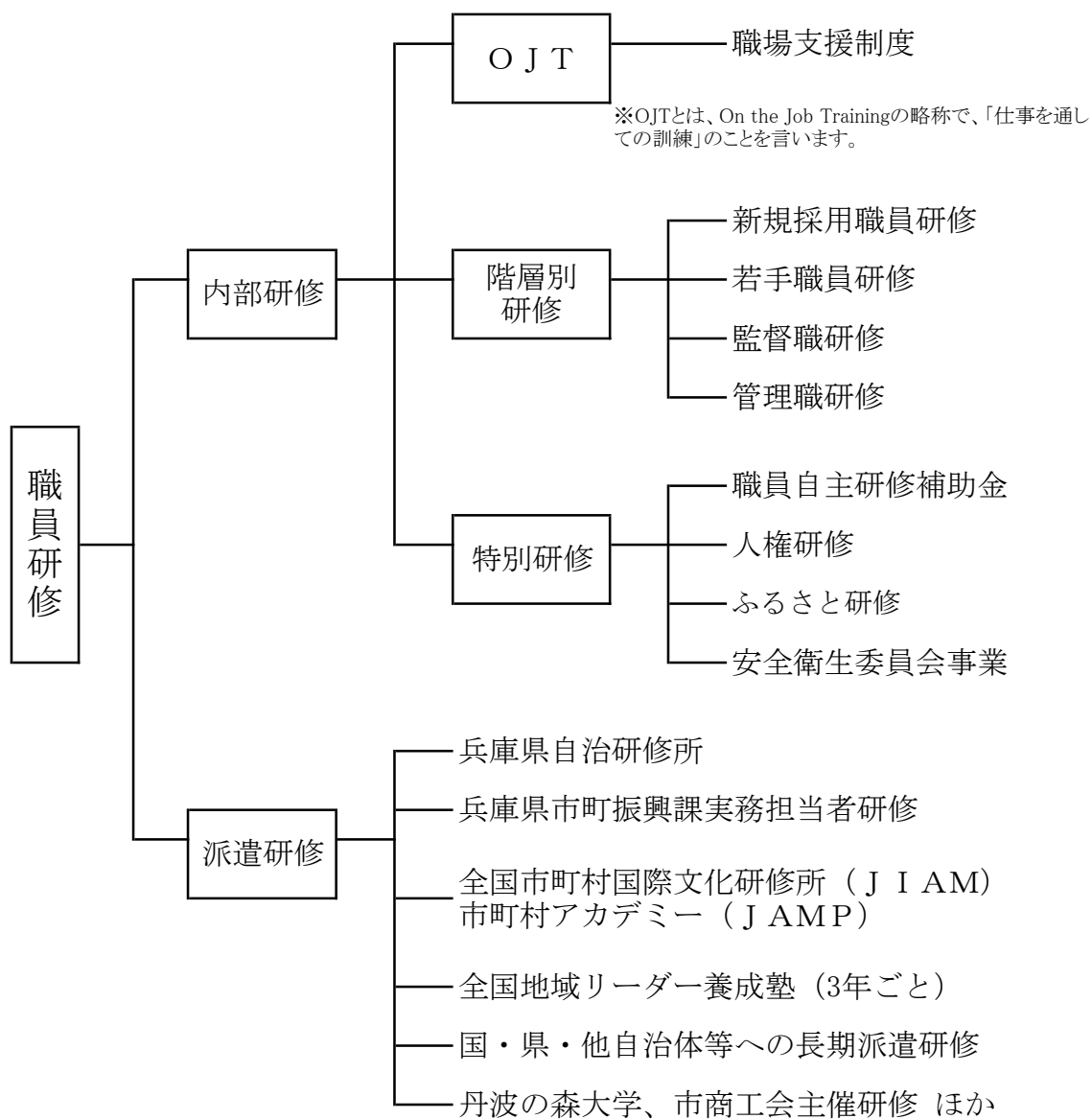
○職員研修の基本方針

職員研修は、職員の能力開発と組織全体のレベルアップを図り、丹波篠山市人材育成基本方針に基づきめざす職員像を実現し、市民サービスの向上や持続可能な行政運営を推進するための重要な役割を担っています。

研修を通じた能力や資質向上を図るため、研修体系の整備を進めるとともに、自らの能力・資質の向上のため主体的に学習する「自己啓発」、日常の業務を通して管理監督者などが指導育成を行う「職場研修」、これらを補完し職場を離れて行う「職場外研修(集合研修)」を研修の柱とし研修推進体制の整備を図るなど今後とも時代の変化に適応した職員研修を実施していきます。

研修は人材育成を推進していくうえで最も基本的かつ重要な役割を担っていますが、職員本人に学ぶ気持ちがなければ、期待できる効果は少なく、自らの意欲で主体的に学ぶことによって、大きな効果が望めることから、公募にかなう研修については、できる限り公募制をとることとし、自己研鑽意欲を有する職員に対して、積極的かつ効率的に研修機会を提供していきます。

◇職員研修体系



◆内部研修の目的

丹波篠山市のビジョンや目的の達成のために、職員として求められる役割を自覚した上で、階層別に必要とされる能力の習得、職場OJTによる自学の推進により、組織力の向上をめざす。

◆派遣研修の目的

職員の自主性を尊重しながら、新しい行政課題への対応力を身に付け、専門的知識・技能等のスキルアップをめざして各種研修機関へ派遣し、資質の向上を図る。

◇令和8年度研修計画

○内部研修

研修名		対 象	目 的	実施予定時期
O J T	メンター研修	メンター職員	新規採用職員の良き相談相手となるべく、メンターの心構えを確認する。傾聴や質問のポイントを学び、コミュニケーション能力の向上を図る。	5月
階 層 別 研 修	新規採用職員研修	新規採用職員	行政職員としての基礎知識を習得し、事務遂行能力を身につける。また、向上心を維持し、自己啓発力を高める。	偶数月
	若手職員研修	概ね2～5年目の職員	行政職員としての必要な知識やスキルを身につけて、業務遂行能力の向上を図る。担当業務の使命・目的を理解し、課題解決能力を身につける。	—
	監督職研修	監督職	所管する事業の使命・目的を理解して業務を遂行し、部下を指導し、組織で課題を解決する能力の向上を図る。	9月
	管理職研修	管理職	市施策の使命や目的を理解し、それを実現する能力を向上させるとともに、部下を育成し、組織力を向上させる能力を身につける。	
特 別 研 修	職員自主研修補助金	全職員	職員が自ら企画・実施する研修の経費の一部を助成することにより、職員の主体的で自由な能力開発を支援し、行政職員としての職務遂行能力の向上を図る。	4月～3月
	人権研修	全職員	「丹波篠山市人権尊重のあたたかいまちづくり条例」を踏まえ、あらゆる差別の解消と人権意識の確立に向けた理解を深める。	6月～2月
	学びなおし研修	全職員	自治大学校のeラーニング学習を活用し、地方自治法等の地方公務員としての基礎知識を身につける。	4月～3月
	ふるさと研修	全職員	丹波篠山の良さを知り、ふるさとに誇りを持って職務に取り組む姿勢を養う。	4月～3月
	安全衛生委員会事業	普通救命講習	応急手当の仕方やAEDの使い方を理解し体得することで、有事の際に冷静適切に処置し、市民の安全に貢献することをめざす。	11月
		さすまた講習	施設の防犯対策・不審者対応のため、さすまたの取り扱い方法を学び、市民及び職員自身の安全の確保をめざす。	10月
		健康・安全研修	自己の健康管理への自覚やストレスの対処方法等を習得することを通じて心身の健康を図り、安全で快適な職場づくりをめざす。	2月

※自主研修補助金制度について

職員の自主的な「学び」を促すため自ら計画し学ぶための経費を補助します。

【概要】

募集定員：8名程度（先着順、予算に達し次第受付終了）

補助額：1研修につき1人あたり40,000円を上限とする

対象研修：地方公務員としての職務遂行能力や問題解決能力の向上に資する研修で次のもの

- ①自治体、企業、団体、研究機関等への先進地視察
- ②研修機関等が実施するセミナーの受講や学術機関等が開催する学会への参加
- ③外部講師を招聘して丹波篠山市職員（臨時職員も可）を3人以上含む複数人で実施する研修会の主催

○派遣研修

下記の研修機関等が実施する研修へ職員を指名または公募で派遣する。

・兵庫県自治研修所 ・兵庫県市町振興課 ・全国市町村国際文化研修所(JIAM) ・市町村アカデミー(JAMP) ・兵庫県市長会 ・丹波の森大学 ・丹波篠山市商工会主催新規学卒者研修 ほか

◇令和8年研修スケジュール

[illegible]

◇令和7年度 内部研修の記録

研修名		開催日	内 容	対 象	受講者数
	職場支援員制度メンター研修	R7.5.26	新規採用職員に対して支援を行うメンター職員を選任し、月1回の面談で、職務や職場環境に関することについて相談にのった。 【内容】メンター職員を対象に、メンターの役割や傾聴などのコミュニケーションスキルを学んだ。 【講師】平田 京子 氏 ((株)インソース講師) 【会場】市役所2-301・302会議室	職場支援員(メンター職員)	27人
階層別研修	所属長研修	R7.4.17	部下の指導等にあたるため、所属長として知っておくべき事項を確認した。 【講師】各業務の所管課長 【会場】市民センター催事場①②	所属長	51人
	監督職研修①	R7.9.26	【内容】インバスケ研修 【講師】株式会社インバスケ研究所 【会場】市民センター多目的ホール	監督職	20人
	監督職研修②	R8.2.13	【内容】管理・監督職に求められる能力と自身の強みを生かしたリーダーシップの発揮について 【講師】中川 智子 氏 (市男女共同参画アドバイザー) 【会場】市民センター催事場①②	女性監督職	23人
	新規採用職員研修	R7.4.1	【内容】公務員倫理について、IT活用とセキュリティについて 【講師】総務課職員 【会場】市民センター多目的ルーム②3	新規採用職員(消防・幼保職をのぞく)	24人
		R7.6.10	【テーマ】丹波篠山市の職員としての基礎知識を習得する 【内容(講師)】 ①副市長講話 ②文書事務について(総務課職員) ③会計事務について(会計課職員) ④行財政について(財政課職員) 【会場】市役所2-301・302会議室	新規採用職員(消防・幼保職をのぞく)	24人
		R7.8.27	【テーマ】丹波篠山市の職員としての基礎知識を習得する 【内容(講師)】 ①行政職員として部落差別(同和問題)を学ぶ(人権教育指導員) ②手話に親しむ(保健福祉部職員) ③防災について(市民安全課職員) 【会場】神戸大学・丹波篠山フィールドステーション	新規採用職員(消防・幼保職をのぞく)	22人
		R7.10.21	【テーマ】地域の人と出会い、地域を知る 【内容(講師)】 ①市野々自治会の活動、集落内見学(市野々自治会) ②泊まれる学校おくもの村の取組について(大芋活性化委員会) 【会場】市野々自治会館、旧大芋小学校	4月・10月採用新規採用職員(消防・幼保職をのぞく)	23人
		R7.12.18	【テーマ】地域の人と出会い、地域を知る 【内容(講師)】 ①観光施策について(商工観光課職員) ②丹波焼について、丹波陶磁器協同組合の取組について(丹波陶磁器協同組合) ③近畿経済産業局派遣研修生の研修報告 ④窯元、陶の郷見学 【会場】兵庫陶芸美術館、陶の郷	4月・10月採用新規採用職員(消防・幼保職をのぞく)	24人
		R8.2.24	【テーマ】丹波篠山市の職員としての基礎知識を習得する 【内容(講師)】 ①丹波の森構想について(兵庫丹波の森協会理事) ②自然・歴史・文化に立脚した地域づくり(丹波の森研究所 上甫木 昭春 氏) ③図書館事業について(中央図書館職員) ④創造農村の持続的発展(大阪市立大学名誉教授 佐々木 雅幸 氏) 【会場】神戸大学・丹波篠山フィールドステーション	4月・10月採用新規採用職員(消防・幼保職をのぞく)	20人

		10月～3月	【テーマ】 地方公務員としての基礎知識を習得する 【内容】 ①地方自治制度 ②地方公務員制度 ③地方税財政度 【実施方法】 自治大学校eラーニング学習	10月採用の新 規採用職員	4人
特別 研修	職員自主研修 補助金	4月～3月	別紙	全職員	12人
	人権研修	8月～1月	別紙	全職員	134人
	ふるさと研修	8月	【内容】 デカンショ踊り練習会、デカンショ祭競演会 【講師】 デカンショ節保存会会員の市職員 【会場】 市民センター、市役所2-301・302会議室	入庁3年目まで の職員	50人
	安全衛生委員会事業 さすまた研 修	R7.11.13	【内容】 さすまたの正しい使い方を学ぶ 【講師】 篠山警察署 【会場】 市役所2-301・302会議室	全職員	20人
	普通救命 講習	R7.12.12	【内容】 AED・普通救命講習 【講師】 消防本部職員 【会場】 消防本部2階研修室	全職員	10人
	安全衛生 セミナー	R8.3.16	【内容】 メンタルヘルスの意識の醸成、セルフケアに関する 知識の向上 【講師】 杉林 智子 氏(公認心理師) 【会場】 市民センター多目的ホール	全職員	48人

◇令和7年度 派遣研修の記録

○兵庫県自治研修所

研修名		開催日	受講者数	目的
一般研修	若手職員研修（628期～634期）	12月～2月	主事級16人	公務のプロとして職務に臨む姿勢を考え、県及び市町職員としての自覚や心構え、使命感を涵養するとともに、若手職員に必要な能力の向上を図る。
	中堅職員研修（391期～395期）	9～11月	主査級17人	中堅職員としての役割・心構えに対する認識を深め、行政課題の解決に必要な能力及び対人関係能力の向上を図る。
	監督職研修（603期～608期）	6月～7月	係長級6人	監督職のあり方について考えるとともに、監督職としての役割・責任に対する認識を深め、仕事のマネジメント及び人材育成にかかる能力の向上を図る。
	管理職研修（383期～385期）	10月	課長・副課長級8人	管理職のあり方について考えるとともに、管理職としての役割・責任に対する認識を深め、組織のリーダーとして職場を管理運営するための能力の向上を図る。
	マスターズ研修(20期～21期)	6月～7月	定年引上・再任用職員5人	新たに定年引き上げの対象となった職員及び再任用された職員が高いモチベーションをもって、ノウハウや経験を業務に活かすための心構えとスキルの向上を図る。
特別研修	リスクマネジメント研修(1日)	5月	2人	平時から 不祥事等に備えるとともに、不祥事等が発生した場合に迅速かつ適切にマスメディア等に対応するため、必要な基本的 スキルを 習得する。
	地方自治の動向と自治体経営	8月	1人	社会経済の過去と現状を学び、地域資源を生かした政策立案の礎とする。
	民法研修	9月	1人	民法実務に関する演習等を通じ、民法の理解を深めつつ法務能力を培い、職務遂行能力を向上させる。
	ファシリテーション研修(管理・監督職)	7月	1人	チーム活動を生産的に行うために必要となるファシリテーションスキルを学ぶ。
	ファシリテーション研修(若手・中堅職員)	9月	2人	チーム活動を生産的に行うために必要となるファシリテーションスキルを学ぶ。
	地域活性化ワークショップ―外部人材から学ぶ―	11月	2人	民間企業経営者やNPO等外部人材から、現場目線や多様な視点での事業の企画立案のアイデアの発想、民間団体や企業とのコラボレーションの手法などを学び、地域活性化の発想力の向上を図る。
	“改革”のための事業見直し研修―スクラップ&ビルドの手法―	7月	2人	選択と集中を徹底して取組の重点化を推進するために、事業のスクラップ&ビルドの必要性、事業見直しの進め方やポイントを学び、行政経営力を向上
	説明力向上研修	11月	2人	効率的・効果的な業務遂行のため、相手が理解しやすい資料づくりや的確に伝える論理的な説明手法を学び、実務能力の向上を図る。

○兵庫県市町振興課実務担当者研修

研修名	開催月	受講者数	目的
法制執務担当職員研修	6月 (オンライン)	2人	法制執務について、基礎的理解を深めるとともに、立案・改正演習を通して実務能力の向上を図る。

○全国市町村国際文化研修所・市町村アカデミー

研修名	開催月	受講者数	主催者
業務改革(DX)のための基礎知識講座	7月	1人	市町村アカデミー
管理職特別セミナー	7月	1人	市町村アカデミー
自治体におけるSNSの活用	7月	1人	全国市町村国際文化研修所
先進事例から学ぶ幸福度指標を活用した政策展開	7月	2人	全国市町村国際文化研修所
職員研修の企画と実践	7月	1人	市町村アカデミー
地域との協働によるまちづくり～地域の活動を支える地域担当職員を目指して～	9月	1人	全国市町村国際文化研修所
デザイン思考を活用した新たな行政課題の解決方法	10月	1人	全国市町村国際文化研修所
図書館を核としたまちづくり	1月	1人	全国市町村国際文化研修所
自治体におけるカスタマーハラスメント対策	2月	1人	全国市町村国際文化研修所
自治体行政法入門	2月	1人	全国市町村国際文化研修所

○兵庫県市長会調査研究事業

研究テーマ	開催月	受講者数	主催者
生成AI・RPA・オムニチャネルで進める自治体DXについて	10月	1人	兵庫県市長会
図書館を拠点にしたまちのにぎわい創出について	10月	1人	兵庫県市長会
人材確保・働き方改革に向けた取り組みについて	11月	1人	兵庫県市長会

○その他

研修名	開催日	受講者数	主催者
新卒就職者合同研修会(3日間)	4月	18人	丹波篠山市商工会
同上フォローアップ研修会(1日間)	10月	16人	
丹波の森大学	5月～1月 (全9回)	2人	(公財)丹波の森協会
丹波の森大学 養成ゼミコース	9月～11月 (全5回)	7人	(公財)丹波の森協会
市町村振興協会パソコン研修	7月～11月 (3コース+eラーニング)	5人	兵庫県市町振興協会
社会福祉主事資格認定通信課程	4月～3月	1人	(福)全国社会福祉協議会
市町職場研修生合同研修会	11月	2人	兵庫県市町振興課

◇令和7年度 自主研修の記録

No.	所属	対象者		研修場所	研修内容
1	企画総務部 創造都市課	係長	中瀬 文隆	長野県長野市	第38回全国自治体政策研究交流会議長野大会・第39回自治体学会長野大会
2	まちづくり部 地域計画課	係長	荒木 隆文	長野県長野市	第38回全国自治体政策研究交流会議長野大会・第39回自治体学会長野大会
3	行政経営部 税務課	主査	新藤 元太	鹿児島県出水市	第18回全国都市改善改革実践事例発表会
4	市民生活部 地域振興課	係長	荻野 順子	鹿児島県出水市	第18回全国都市改善改革実践事例発表会
5	学校教育部 教育総務課	主事	室谷 汐南	鹿児島県出水市	第18回全国都市改善改革実践事例発表会
6	保健福祉部 医療保険課	主事	近藤 美奈穂	鹿児島県出水市	第18回全国都市改善改革実践事例発表会

※補助金交付決定順

◇令和7年度 人権研修参加実績

研修名	開催月日	受講者数
人権・同和教育セミナー2025	8月～1月（全4回）	主事・主査級ほか 30人
「みんなの人権を考える」映画会『島守の塔』	R7. 8. 11	主事・主査級 2人
丹波篠山市人権・同和教育研究大会	R7. 7. 13	監督職 24人
丹波篠山市民人権のつどい 「睦」の家からのメッセージ 児童養護施設「睦の家」施設長 小田 敏治 氏	R7. 6. 4	管理職 78人

※兵人教研究大会丹波地区大会、全国人権・同和研究大会・兵庫県人権教育研究大会中央大会へも職員を派遣（人権推進課で実施）